

調査・研究委員会

【中期（3年）の活動方針】

社会変化に先駆けた医療イノベーションを実現するために、即時性をもって画像医療システムの市場動向等、基礎データの収集を継続実施する。また、事業環境、事業形態の変化に合わせて実施する調査・研究を改善していく。昨今の画像診断機器市場が複雑かつ予測が困難な状況を鑑み、タイムリーな市場予測が提要できるように受注統計などの提供検討を進める。ニューノーマルの時代に適応した対応として、デジタル技術のWebを活用し、効率化、省力化を実現し、集計精度の向上を支援可能な入力・集計システム(JIRA-Stat)を用いたJIRA市場統計システムの円滑な運営と信頼性向上に向けた活動を継続すると共に、「画像医療システム等の導入状況及び安全性確保状況に関する調査(以下、導入実態調査と記す)」にもWebによる調査形態に変化を加え継続、実施する。

1. JIRA市場統計

(1) 安定した運用

JIRA市場統計の精度確保と関係部会、委員会とともにJIRA会員に公開し、継続した価値提供を実施する。(関連機器の精度向上のため、20年度には関連産業振興委員会より本委員会に2名加入)

(2) 市場の変化に合わせた調査品目の改良

継続性を確保しつつ、必要に応じて調査品目の分類等の再検討を関係部会、委員会とともに実施する。さらに、社会の変化や販売方法の多様化に合わせた改良等の検討を実施する。

(3) 統計入力者等向け説明会の開催

JIRA市場統計の継続した精度確保のために、統計入力者等向けの説明会の開催等を検討する。ニューノーマルの時代、地方からの参加も容易なようにWebによる説明会を導入するとともに入力者からの疑問に回答できるような質疑、対応や、サポートを継続して実施する。(20年度からWebを活用した説明会を実施、今後更に価値向上の改善を目指す)

(4) タイムリーな市場予測(受注統計の検討)

JIRA市場統計は、売上ベースの市場統計に加えて、市場環境の変化をタイムリーに取得するため、受注から納品まで比較的長い期間を要する大型画像診断関連装置について、新たに受注ベースの市場統計の具体化検討を実施する。21年度に受注統計検討WGを立ち上げ検討を着手、22年度内の運用開始を目標に活動を推進する。

2. 導入実態調査

(1) 継続性

診療報酬改定、安全性確保、装置メンテナンスに関する価値の訴求やJIRA内外の基礎データとするための導入実態調査を継続して実施する。また、Webによる調査(アンケート)、説明会の実施をすることで医療従事者にも状況等を共有し、改善のヒントが得られるように努める。

(2) 調査項目

調査項目は、導入状況、保守・安全確保状況、安全管理体制の調査を柱とする。

(3) 調査報告書の公開

調査報告書は、関係の省庁、学会、団体に配布すると共に、そのポイントはJIRAホームページを通じて広く公開し、経済部会、広報委員会などと連携の上で広報し、健全な産業の発展のための諸活動の基礎データとする。また、JIRA会員企業へは、さらに有用な方法で報告を実施する。

3. その他

国内外の動向を注視し、本会活動に有益な諸統計資料の調査研究などの活動を必要に応じて行う。